田村和之 著　**『広島とヒロシマ』**　　　　　　　　2025/4/11

**総計　約１０万９０００字**

**はじめに**　　　　　　　　　　　　　　　　　　１０７０字

発刊によせて　　　　　　　　広島自治体問題研究所事務局長　橋本和正　８００字

**第１編　「平和都市」広島　　　　　　　　　　　　　　　計５万９７００字**

１「平和都市」を自己否定―広島市平和推進基本条例

（宮崎ほか『「平和都市」ヒロシマのまがりかど』）　　　　　　 　８９９０字

２　広島市長による「平和宣言」　（月報）　　　　 　　　 　　　　　　５２７０字

３　８.６平和公園の利用制限　　（月報)　　　　　　　　　　　　　　　６７９０字

４　ノーベル平和賞受賞と広島市　（月報）　 　　　　 　　　　　　　　２２２０字

５　松井一實広島市長の「被爆者援護」観　（「広島ジャーナリスト」６号）２８８０字

６　原爆資料館運営の外部委託　　（中国新聞）　 　　　　　　　　　　　１２９０字

７　「平和都市」広島市の法律、条例　　（広島自治研編『被爆70年』）　６７８０字

８政令指定都市 広島市の課題　　 （「ジュリスト増刊」1983年） 　 　６５４０字

９　広島オリンピック誘致＆オバマジョリティ・キャンペーン　（月報）　５８６０字

10　かき船の原爆ドーム・バッファゾーン内への移設　（「住民と自治」）　９２４０字

11　宮島入島制限と移動の自由　 （月報） 　　　　　　　　　　　　　　３７４０字

**第２編　被爆者行政**　　　　　　　　　　　　　　　**計２万１９２０字**

12　在ブラジル・在アメリカ被爆者を訪ねて（ヒバクシャ20号　2002年）　 ２８８０字

13　在外被爆者裁判を振り返る（編著『在外被爆者裁判』はしがき・あとがき）　　　 １９9０字

14　原爆「黒い雨」訴訟広島高裁判決の意義（2023年原水協世界大会国際会議） ２８４０字

15　広島原爆による「黒い雨」曝露の確認　（ヒバクシャ41号）　　　　　 　６２９０字

16　2024.9.9長崎地裁判決の問題点（書き下ろし）　+表　+地図　 　　　　２９００字

17　長崎・新要綱による支援事業　（月報）　　　　　　　　　　　　　　　２３９０字

18　原爆「被爆二世」の援護　　（月報）　　　　　　　　　　　　　　　　２６００字

**第３編　広島の教育・保育 計２万３１００字**

19　平川理恵広島県教育長の下での教育行政

19-0　（はしがき）広島県教委官製談合疑惑事件について　　 　　　　５４０字

19-1（田村栄子）「日本一の教育県を問う」　　　　　　　　　　　　 　　　　３０８０字

19-2（田村栄子）広島県立中高一貫校のいじめ問題　　　　　　 　　　２３７０字

19-3（田村栄子）住民訴訟に臨んで　　　　　　　　　　　　　　 　　２０５０字

19-4 教育長は教育行政の独裁者か　（月報）　　　　　　　　　　　 ２１２０字

19-5 平川理恵教育長の退任　　　　（月報）　　　　　　　　　　　 ２３５０字

20-6 情報公開請求を行う　　　　　（月報）　　　　　　 　　　　　１７２０字

20　広島市教育委員会決裁規則の疑問点　（月報）　　　 　　 　　　２４３０字

21　広島市立八幡東保育園廃止について　（月報）　　　　 　　 　　　２５００字

22　広島市の放課後児童健全育成事業　　（月報）　　　 　　 　　　　２２７０字

23　（田村栄子）広島市における中学校英語の時間数増を求める運動　 １６７０字

**あとがき**　　**（未執筆）**　　　　　　　　　　　　　　2000字

**（出版計画のあらまし）**

出版社　　信山社

出版時期　2025年５月下旬

四六判　　横書き

希望定価　２０００円以下

著者買取り　３００冊